

沢地区地域まちづくり計画

～みんなでつくろう 住み良い 沢の里～



平成 27 年 4 月
沢地区住民自治協議会

【目 次】

■ 沢地区の概要	
1 地区概観	2
2 歴史概観	2
3 地区の特性	3
■ 地区の状況	
1 人口・世帯等	4
2 地区人口の推移	4
3 土地利用の状況	5
■ 沢地区地域まちづくり計画の役割	5
1 策定及び見直しの経過	5
2 計画の役割	6
3 計画の推進体制	6
■ まちづくりについての住民の声	7
■ 地区の課題等	9
■ 分野別の事業推進	11
1 環境・産業	11
2 生活・防災・防犯	13
3 健康・福祉	14
4 教育・文化	15
5 地域コミュニティ	16
— 資料編 —	
● 地域カレンダー	20
● 地域資源の位置図	22
● まちづくり市民アンケートについて	24
● 沢地区住民自治協議会役員・委員	25
● 平成24年度～26年度の活動状況	26



■ 沢地区の概要

1. 地区概観

本地区は香取市の南西端に位置し、北は旧佐原市、東は旧栗源小学区、南は多古町、西は旧大栄町に接しており、海拔は約11メートル（苧毛寄りの水田）から約44メートル（開進の台地）となっています。面積は、約8平方キロメートルです。

地区の大部分は北総台地の一角をなす台地ですが、地区の東寄りを北方向に、また南寄りを西方向に谷津田が樹枝状に入り込んだ起伏に富んだ地形を形成しています。台地ではサツマイモを中心とする畑作が盛んですが、低地では谷津田は土地改良が行われた水田以外はほとんど耕作が行われなくなっています。

地名が表わすように、清水の湧く所が随所にあり、中白清水は、その代表です。水がきれいで、サワガニはもちろん、ホタルの生息も確認されています。

地区の中心には、奈良時代に唐僧鑑真が開いたとされる眞浄寺があり、豆まきが春の訪れを告げる地域の行事となっています。「門のしいのき えのきの木」と校歌に歌われ、校門にあるシイ、エノキの大木がシンボルとなっている旧沢小学校は、平成20年度をもって廃校となり、有効活用を模索する動きもあります。

地区の中央を東西に走る県道成田小見川鹿島港線バイパス沿いには、道の駅くりもとやクラインガルテンがあり、成田方面からの香取市の玄関口になっており、農をキーワードにした都市農村交流が盛んです。また、2箇所のゴルフ場があります。

2. 歴史概観

沢字瀬谷台では、縄文式土器や土師器の破片が出土していること、瀬谷台古墳（前方後円墳）があったことから、本地区には古くから人が住んでいたことがわかります。平安時代末期には、このあたりは千田庄の一部を占めていたとされ、中世（鎌倉、室町時代）には千葉氏の勢力圏にあり、近世（江戸時代）にかけて、原氏（千葉氏の一族、室町時代）から国分氏（天正年間。一部は松子城の大須賀領）、鳥居氏（徳川家康関東入国による）というように領主が変わっていきました。台地は江戸時代には幕府牧の一つである矢作牧の範囲に含まれており、現在もその野馬土手が部分的に残されています。

江戸時代に入ると、村高制により村が一つの行政単位となって、苧毛村、（西）田部村、岩部村、荒北村、高萩村とともに、沢村ができました（助沢村は、1680年代に岩部村より独立してできました）。

明治新政府になり明治22年、上記7村が合併し栗源村（大正13年から栗源町）が誕生しました。

明治20年から30年代にかけては沢の原の開拓が行われ、開進、宿原とも明治30年代から入植が始まりました。

太平洋戦争下の昭和17年に部落会制度ができて、沢村を分けて沢東部、沢西部、倉沢、開進の4部落としました。昭和28年には、宿原が沢本区（沢東部）から部落として独立。昭和44年には部落は区と改称され、町の組織として位置づけられました。

※主な出典は「栗源町史」による。

3. 地区の特性

沢地区を特徴づける自然や歴史、文化・慣習などの資源には、さまざまなものがあり、活動にあたってはこれらを有効に活用することが大切です。

主なものを分野別に整理すると次のようになります。

※ 役員会ワークショップから

自然	歴史	文化・慣習	公共施設等	産業・生活・その他
弁天池 里山 中白清水 湧水・清水、種洗（たねえ） 谷津田 小川（平山川・天神川） 源氏・平家ボタル（西沢） カワニナ 沢の大桜 椎、榎木（沢小） 枝垂れ桜（開進齋藤宅） 大杉・大イチョウ（眞浄寺） もみじ（倉沢岩本宅） 山桜（西沢） 開進から見える富士山 春蘭（開進大里宅） ビオトープ マムシ	眞浄寺 五社大神 妙見神社 弁天宮 三社大神 天神宮 富国神社（開進） 鬼子母神（倉沢） 早馬道祖神 道祖神（各地区） 古道 道標（石造り） 古墳 野馬土手（開進） 馬牧関連の字名（馬渡台） 旧寺の地名（蓮花寺等） 不受不施派の大卵塔、教会 野鍛冶跡（開進字カナクソ） 永澤屋敷跡（宿原） 貝の出土（海底の痕跡） 旗本荏原氏の墓（眞浄寺）	だんごならし 節分 かわせがけ（倉沢） お子安講（開進） おひまち おびしゃ たのみびしぎ	旧沢小学校 沢区民センター 開進農村広場やすらぎの家 倉沢公民館 宿原区民センター	酪農（放牧） 乗馬クラブ ローズガーデン ウザワ 梨園（開進） ブルーベリー園 クワガタフィールド ゴルフ場（2） 温浴施設 陶芸工房 穴窯（山邊宅） 天文台（開進江尻宅） 種苗ハウス（倉沢、開進） 道の駅くりもと 市民農園 クラインガルテン栗源

■地区の状況

1. 人口・世帯等

平成26年4月1日現在

(人)

	男	女	計	世帯数	15歳未満	15～64歳	65歳以上
香取市	40,318	41,329	81,647	30,239	8,579	48,362	24,706
割合(%)					10.50	59.23	30.26

平成26年4月1日現在

(人)

	男	女	計	世帯数	15歳未満	15～64歳	65歳以上
沢	215	218	423	136	30	248	145
開進	174	162	336	135	18	229	89
倉沢	39	41	80	30	※	※	※
宿原	59	53	112	62	4	78	30
計	487	474	961	363	—	—	—

割合(%)

2. 地区人口の推移

各年4月1日現在

(人)

		平成2年	平成22年	平成26年	増減(人)	増減(%)
全体人口	沢	594	455	423	▲32	▲7.0
	開進	320	355	336	▲19	▲5.3
	倉沢	79	97	80	▲17	▲17.5
	宿原	140	126	112	▲14	▲11.1
計		1,133	1,033	961	▲72	▲6.9
15歳未満	沢	99	40	30	▲10	▲25.0
	開進	60	34	18	▲16	▲47.0
	倉沢	12	6	※	—	—
	宿原	18	7	4	▲3	▲42.8
計		189	87	—	—	—
65歳以上	沢	121	138	145	7	5.0
	開進	48	83	89	6	7.2
	倉沢	21	26	※	—	—
	宿原	18	28	30	2	7.1
計		208	275	—	—	—

※ 行政区別世帯数及び男女別、年齢(3区分)別住民基本台帳人口表は、プライバシー保護の観点から、男性または女性が3人以下の町丁は、年齢別人口を公表していません

3. 土地利用の状況（平成 23 年度 計画策定時）

単位（面積：千㎡、割合：％）

	香取市		沢 ・ 沢 ・ 開進 ・ 倉沢 ・ 宿原	
	面積	割合	面積	割合
宅 地	20,762	7.92	371	4.64
田	82,565	31.48	731	9.15
畑	39,899	15.21	2,456	30.74
山 林	49,048	18.70	1,791	22.41
原 野	3,115	1.19	63	0.79
池 沼	1,561	0.59	31	0.39
牧 場	629	0.24	41	0.51
雑種地	13,095	4.99	1,450	18.15
その他	51,632	19.68	1,056	13.22
計	262,306	100.00	7,990	100.00

■ 沢地区地域まちづくり計画の役割

沢地区住民自治協議会では、少子高齢化、人口減少などによるさまざまな地域課題を見据えながら、「いつまでも住み続けたい」とだれもが思えるようなより良い地域づくり、愛着を持てるふるさとづくりを進めるために、「みんなでつくろう 住み良い 沢の里」を活動の基本理念（スローガン）として掲げました。

「沢地区地域まちづくり計画」は、この基本理念のもとに、現状や取り組みの方針、活動事業等を分野別に取りまとめたもので、私たちが活動を実践していくための指針となるものです。

活動の基本理念

みんなでつくろう 住み良い 沢の里

1. 策定及び見直しの経過

平成 23 年

- 12 月 15 日 沢地区住民自治協議会設立
- 12 月 15 日 第 1 回役員会
 - ・ まちづくり市民アンケートについて協議
- 12 月 29 日 住民・団体アンケート実施（～ 1 月 13 日）

平成 24 年

- 1 月 13 日 第 2 回役員会
 - ・地域の特性、課題の把握（ワークショップ）
- 2 月 20 日 第 3 回役員会
 - ・アンケート集計結果の報告
 - ・地域の将来像、事業計画等の検討
- 3 月 15 日 第 4 回役員会
 - ・地域まちづくり計画（案）の協議、決定
- 4 月 27 日 沢地区住民自治協議会総会
 - ・地域まちづくり計画の決定

- 平成 27 年 1 月 29 日 第 2 回役員会
 - ・地域まちづくり計画の見直しについて検討
- 平成 27 年 3 月 17 日 第 3 回役員会
 - ・地域まちづくり計画見直し（案）の協議、決定
- 平成 27 年 4 月 30 日 沢地区住民自治協議会総会
 - ・地域まちづくり計画見直しの決定

2. 計画の役割

沢地区地域まちづくり計画は、沢地区住民自治協議会が一丸となって取り組む目標や活動などを定めたものです。

この計画に基づき、年度ごとに事業計画書を作成し事業を実施します。

なお、地域の状況や地域を取り巻くさまざまな環境、社会情勢の変化に適切に対応するため、必要に応じて見直しの検討を行うこととします。

3. 計画の推進体制

計画の推進にあたっては、区をはじめ各種団体が、得意とする活動分野ごとに部会を組織したり、実施する事業に応じて実行委員会を設置する等によって、その実効性を高めます。また、実施した事業については、評価、検証を行い、見直し、改善に努めることとします。

※ 地区の主な活動団体及び分野の例（アンケートから）

環境・産業	生活・防災・ 防犯	健康・福祉	教育・文化・ 交流	地域コミュニ ティ
自治会（区）、栗源中学校、栗源小学校、栗中 P T A、栗小 P T A				
	・消防団 2－1 （沢・倉沢・宿原）、 2－3（開進） ・交通安全協会	・民生委員児童委 員 ・母子福祉協力員 ・母子保健推進員 ・沢地区社会福祉	・青少年相談員 ・ボランティア 栗源 ・子ども会（沢、 開進・倉沢・宿	・ボランティア栗 源

		協議会	原) ・沢地区社会福 祉協議会	
--	--	-----	-----------------------	--

■まちづくりについての住民の声（アンケート結果から）

平成23年12月から24年1月かけて、区長をはじめ地区の役員の方々の協力を得て配布・回収したまちづくり市民アンケートは、350人の方々から回答をいただきました。

1世帯当たり1.5人、地区の35%の方々に回答していただいたことになります。

このアンケートの集計結果から、皆さんが地区や地域活動をどのように考え、感じているのかを見ると、次のようになりました。（数値は小数点以下を四捨五入しています。）

◇8割以上が「地区に愛着ある」

地区の愛着については、「強い愛着を感じる」が22%、「ある程度愛着を感じる」が62%で、合わせると84%になりました。

皆さんの思いを合わせることができれば、大きなまちづくりの力になると考えられます。

◇魅力は「自然が豊か」で「犯罪が少ない」

地区の良いところについては、「自然が豊か」が69%、「犯罪が少ない」が47%、「人情がある」が23%でした。

豊かな自然の中で、人々のつながりがあって心安らかな平穏な暮らしぶりがあることがわかります。

◇住みづらい点は「交通・買い物が不便」

一方で、住みづらいと感じるところは、「交通の便が良くない」が61%、「買い物に不便である」が46%、「老後の生活が不安である」が32%、「魅力ある働く場が少ない」が21%でした。

公共交通が十分でないこと、商店、特に生鮮食品を扱う商店が少ないことなどが影響しているようです。日々の生活という面では、厳しい状況があることがわかります。

◇6割以上が「地域活動に関心ある」

地域活動に対する関心については、「非常に関心がある」が3%、「ある程度関心がある」が58%で、合わせて61%になりました。

地区の6割以上の皆さんが、地域活動に関心があることがわかります。

◇活動は「年に1～2回」

地域活動への参加状況については、「年に1～2回」が30%、「半年に1～2回」が21%、「2～3ヶ月に1～2回」が12%でした。

これは、地域活動には関心はあるものの、参加の機会がそれほど多くないことが影響しているものと思われます。（例えば自治会以外に活動の場がなければ、5月のごみゼロ運動と夏の道刈り程度の参加になり、年2回程度の参加になるなど。）

◇活動は主に「自治会」活動に参加

地域活動に参加する場合のグループについては、「自治会」が42%、以下、「個人」が20%、「農業関係で」が13%と続きました。

個人で活動に参加するとした回答が比較的多く、自主的に参加していることが窺えることが特徴になっているようです。

◇「身近な人と一緒」や「自分の都合」でできれば参加する

地域活動に参加する場合の条件としては、「友人や地域の人等、身近な人と一緒に参加できる」が56%、「自分の都合に合わせて、わずかな時間で参加できる」が46%、以下、「簡単に参加できる」が26%、「趣味や特技を生かせる」が21%と続きました。

あいた時間に簡単に参加できれば、多くの参加が期待できることがわかります。また、自分の趣味や特技を生かせるような活動をつくっていくことも求められていると思われます。

◇「清掃活動」や「美化活動」、「地域ふれあい行事」に参加を希望

参加したい活動の内容については、「道路や公園などの地域の清掃活動」が25%、「まさに緑や花を増やす美化活動」が16%、以下「お年寄りのお世話や生きがい対策などの地域の福祉活動」が15%、「交通安全や見回りなどの防犯活動」が14%と続きました。

美しい環境のもとで、楽しく触れ合いたい、お年寄りを大切にしながらみんなで助け合おうという、皆さんの思いが伝わります。



■地区の課題等

アンケート調査や計画策定を行う役員会ワークショップでは、地域の課題や事業提案として、さまざまな意見が出ました。その中で主なものを分野別に整理すると次のようになります。これからのまちづくりにおいては、これらの課題の解決に向けて事業を展開していく必要があります。

分野	主な課題等
環境 ・ 産業	道路（通学路）の除草、障害樹木（枝）の伐採
	U字溝のつまり（掃除）
	春先の風等で道路にたまった土（道幅を狭めている）
	ごみが多い（ポイ捨て、不法投棄、沢池の釣りごみ）
	ごみステーションのごみ出しルール（分別など）
	地域の清掃活動
	休耕地の管理・活用
	自然保護
	ごみステーションの増設
	◆家庭ごみ、農業用ビニール等の野焼き対策（洗濯物等を干すのに困る）
	◆放射線の心配
	◆沢弁天池の水の確保
	◆宅地の立木管理
	◆産業振興
生活 ・ 防災 ・ 防犯	泥棒の発生、防犯対策（防犯パトロール、防犯灯の設置、押し売り・押し買い等）
	空き家対策
	魅力ある地域づくり
	◆交通手段の確保（高齢者の通院・買い物や学生の通学など）
	◆交通安全対策（大型車の交通規制など）
	◆定住・人口増加対策
	◆少子・高齢化
	◆結婚問題
	◆道路整備
	◆道路排水整備
	◆歩道の整備（でこぼこであったり草が生えていたりで通行困難）
	◆生活排水整備
	◆公共用地・公共物の管理
健康	高齢者の支援（見守り、ゴミ出し対策等）

・ 福祉	高齢者の生きがい対策
	福祉相談の整備
教育 ・ 文化	子供の減少によるPTA活動の人手の確保（廃品回収等）
	子ども会活動及び役員（子供の減少により活動が困難。また、役員が何回も回って来る負担感）
	地域学習（地域内の伝統建築物や保存樹など、学習を通しての保護活動）
	地域伝統行事の継承（おびしゃ、子安講など）
地域 コミュニティ ・ その他	子供の減少による行事の減少
	地区役員・活動の負担感（地区住民の減少や高齢化に伴い、役員回数が増加、役職の簡素化・廃止・統合等）
	地区住民の高齢化
	コミュニティの円滑化
	地域の交流不足
	情報の共有
	地域慣習の見直し
	ボランティア会員の減少（若手等協力者の確保）
	ボランティア組織の育成
	◆旧沢小学校の活用

注）◆印の課題等は、地域だけでは解決が困難なもの。



■ 分野別の事業推進

課題解決に取り組むため、分野別に、取り組みの目標、現状、展開する活動などを示します。

1 環境・産業

取り組みの目標

豊かな湧き水と 肥よくな大地の保全

【現状】

通学路などの道路に張り出した障害樹や風等で堆積した土砂、野焼きによる悪臭、ごみ出しマナーやごみの不法投棄など、日常生活に関する課題が多く寄せられています。

基幹産業である農業も、後継者不足により農地が荒れ、耕作放棄地が増加していることも大きな課題となっています。

近年は、山林も手入れがされず、美しい自然が失われつつあります。しかしながら、一部地域では、美しい自然を残す、里山保存等のボランティア活動も行われています。

今後は、高齢化が進んでいるボランティアの新たな人材発掘、耕作放棄地を活用した新たな産業振興、障害樹の伐採、野焼きによる悪臭対策、ごみ出しルールの徹底やごみの不法投棄対策などが求められています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
ふるさとの環境・美化活動	自分たちが日々暮らす地域を、美しく快適で住みやすい地域にするため、みんなで協力しながら環境・美化活動を展開する。 ・道路（通学路）沿いの草刈、障害となる樹木や枝の伐採 ・道路に溜まった土砂の撤去 ・U字溝清掃 ・花を咲かせる美化運動（合わせて、賞の創設など） ・ごみゼロ運動（沢地区住民自治協議会独自に実施）など 【区、ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続 平成 24 年度から 事業継続中
旧沢小学区における「田園空間整備事業」の展開	旧沢小学区における農村振興事業の一環として、農業、農村の営みのもとに育まれた「水」「土」「里」のおりなす地域資源を歴史的文化的視野で再評価し、「屋根のない田園空間博物館」として、美しい農村景観を保全・復元するとともに、フットパス（散策路）整備を進め、農村と都市の	中期 継続

	共生と地域活性化を図る。 【ボランティア団体、地域住民 等】	
野焼き防止活動	家庭ごみを含む野焼きによる悪臭対策のため、市と協力してチラシを作成し地域内の各戸へ配付するなど、野焼きによる迷惑防止を図る。 【区、地域住民 等】	短期 継続
休耕地活用の検討	荒れた農地（田・畑）の有効活用について検討する。 【土地改良、実行組合、水利組合、ボランティア団体、地域住民 等】	中期 継続

※ 短期とは、概ね3～5年後を目安に取り組むもの。中期とは、概ね6～7年後、長期とは、概ね8～10年後程度を目安に取り組むもの。



2 生活・防災・防犯

取り組みの目標

支え合い 安全安心に暮らせる ふる里

【現状】

アンケート調査の結果から、多くの地域住民が、公共交通や買い物の不便さに住みづらさを感じ、老後の生活に不安を抱いています。

このため、具体的に、子供の通学や高齢者の通院等のための交通手段を確保してほしいという要望が多くありました。

近年の少子化や若者の流出等により、人口が減少し空き家も多くなっています。人口減少対策として、空き家の活用や独身者の結婚問題への対応のほか、若い世代がこの地域で結婚をして子育てができる、魅力ある地域づくりという大きなテーマも課題として寄せられています。

その他、防犯対策、道路排水、生活排水整備なども課題となっています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
地域防犯パトロール事業	子供たちの登下校時や日中の空き巣対策等として、腕章などを付け、ウォーキングなどを兼ねて防犯パトロール活動を展開する。 【ボランティア団体、小・中学校、PTA、地域住民 等】	短期 継続 平成 24 年度から 事業継続中
防災対策	災害時の安否確認、避難場所、必要な物資の状況などについて、地域で点検を行うとともに、対応を検討する。 災害時の一人暮らし高齢者等の救助方法等について、地域で話し合い、体制等を整備する。 定期的に防災訓練等を行い、災害に備える。 【区、各種団体、地域住民 等】	短期 継続 平成 24 年度から 事業継続中
防災マップ作成	災害に備え、危険区域・避難場所の確認のため防災マップを作成する。自宅の周辺の状態を持ち合い、検討する。  【区、各種団体、地域住民 等】	短期 平成 24・25 年度 事業実施

3 健康・福祉

取り組みの目標

思いやり 元気いっぱい 健康の里

【現状】

旧沢小学校区の65歳以上の高齢化率は、市の27.19%を若干上回る27.43%（平成23年4月1日時点）ですが、今後は更に高齢化が進むものと思われます。

近年は一人暮らし高齢者や高齢者世帯が増加していることから、高齢者の見守りや高齢者世帯のごみ出し等、高齢者への支援が求められています。

生活上の悩みなど何でも相談できる体制整備も求められています。

その他、将来の超高齢化社会を見据え、高齢者を地域みんなで支えるという意識の醸成づくりや体制が課題となっています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
安心・見守り・声かけ事業	地域内の日中独居や一人暮らし高齢者、高齢者世帯を対象に、見守りや声かけ活動等を展開する。 【区、ボランティア団体、民生児童委員、地域住民 等】	短期 継続
助け合い、生きがい事業	高齢者の生きがい対策として、地域内で草取りなど簡単な作業を請け負い、働くことができる制度を構築する。 【ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続
お助け隊【サワーズ】	新しく地区に来られた人や一人暮らし高齢者、高齢者世帯などの不安解消のため、5～10人程度のボランティアグループ「お助け隊」を多数創設し、個人的な相談や悩みに、協力や助言など支援を行う。 【区、ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続 平成24年度から 事業継続中



4 教育・文化



取り組みの目標

伝統文化の継承と 地域が支える青少年健全育成

【現状】

古くから行われている「おびしゃ」や「子安講」などの行事がありますが、いかに若い世代へ負担感を減らしながら、これらの行事を継承していくかが課題となっています。また、地域内の伝統的建造物や保存すべき樹木を後世に残す保護活動なども課題となっています。

近年の少子化により、保護者が子ども会やPTAなどの役員になる回数が増え、負担感が増大しています。また、それぞれの活動などにも支障が出てきており、地域での支援が求められています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
青少年健全育成事業	旧沢小学校を中心にして、小中学生を対象とした里山古道めぐりや星空・ホテル観察会、道の駅での体験教室など、地域の資源や自然にふれあう活動を通して、青少年の健全育成を図る。 【青少年相談員、子ども会、ボランティア団体 等】	短期 継続
児童・生徒の活動支援	児童、生徒数の減少により、青少年の各種活動に支障をきたしていることから、地域で活動を支援する。 【区、小・中学校PTA、ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続 平成24年度から事業継続中
文化活動の推進	地域住民のコミュニティを深めるとともに活力ある地域づくりのため、文化活動の推進を図る。 【ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続
伝統的建造物等の保存活動	地域内の伝統的建造物や保存すべき樹木を後世に残すための保護活動を展開する。 【ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続 平成24年度から事業継続中



5 地域コミュニティ

取り組みの目標

みんなでつくろう 地域の絆



【現状】

地区人口が減少・高齢化しており、地区役員や活動に対する負担感が課題となっています。その他、地域の交流・情報不足や地域慣習の見直し、ボランティア組織の育成等が課題となっています。

小学校の統合により、平成 20 年度末に沢小学校が廃校となったことから、この施設の有効活用が求められています。

項目名	事業・内容・主体等	時期
住民自治協議会 憩いの場（サロン）の整備	住民の方々が、いつでも好きな時間に気軽に集まれる場として、旧沢小学校の教室などを住民自治協議会で借り、事務所兼サロンとして検討・整備をする。また、いろいろな年代の交流事業に展開していく。 【区、地域住民 等】	短期 継続
交流イベントの開催	年代を問わず参加できるようなイベントの開催で、世代間の交流を図り、地域の絆を深める。 ・だんごならしのような昔からの行事を伝えるイベント ・グラウンドゴルフなど年代を問わずできるスポーツ 等 【区、地区社協、各種団体、地域住民 等】	短期 継続
ボランティア活動促進事業	各ボランティアグループの活動内容等をまとめたパンフレットを作成し、各戸へ配付することにより、地域へ各ボランティアの紹介と周知を図る。また、併せて、ボランティア参加者の募集をするとともに、ボランティアへの意識を高める。 【ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続
広報お知らせ	活動の周知 P R や身近な情報を伝えるため、広報紙やチラシ等により広報を行う。 【区、ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続 平成 24 年度から 事業継続中

旧沢小学校の 活用検討	旧沢小学校の有効活用について、市と協力しながら検討する。 ・旧沢小学校を拠点とする「農村ギャラリー構想」の展開など 【区、ボランティア団体、地域住民 等】	短期 継続 平成 24 年度から 事業継続中
----------------	---	-------------------------------------



資料編

●地域資源の位置図（平成23年度 まちづくり計画策定時）

※地域の特性から抜粋
場所が特定できるもののみ
地図に表示

公共施設等（青色）

- ①旧沢小学校
- ②沢区民センター
- ③開進農村広場やすらぎの家
- ④倉沢公民館
- ⑤宿原区民センター

自然（緑色）

- ①弁天池
- ②里山
- ③中白清水
- ④湧水・清水・種洗（たねえ）
- ⑤谷津田
- ⑥小川（平山川・天神川）
- ⑦源氏・平家ボタル（西沢）
- ⑧沢の大桜
- ⑨椎の木、榎の木（沢小）
- ⑩しだれ桜（開進斎藤宅）
- ⑪大杉、大イチョウ（眞浄寺）
- ⑫もみじ（倉沢岩本宅）
- ⑬山桜（西沢）
- ⑭開進から見える富士山
- ⑮春蘭（開進大里宅）
- ⑯ピオトープ
- ⑰マムシ

産業・観光（オレンジ色）

- ①酪農（牛の放牧）
- ②乗馬クラブ
- ③ローズガーデンウザワ
- ④梨園
- ⑤ブルーベリー園
- ⑥クワガタフィールド
- ⑦ゴルフ場
- ⑧温浴施設
- ⑨陶芸工房
- ⑩穴窯（山邊宅）
- ⑪天文台（開進江尻宅）
- ⑫種苗ハウス（倉沢、開進）
- ⑬道の駅くりもと
- ⑭市民農園
- ⑮クラインガルテン栗源

